

早良南部地域における交流人口の拡大による地域活性化事業について

早良南部地域活性化事業実行委員会

1. 事業の背景

早良区南部地域は、旧早良郡である入部以南の地域で、福岡市の都市計画における線引き以降、市街化調整区域として農業・森林環境の保全が行われてきた。平成23年度以降は、この緑豊かな環境を活用した地域活性化への展開を目指し、早良区南部地域活性化事業として、区役所の支援による勉強会や組織づくりが行われ、地域主導のイベントをはじめとしたまちづくり活動が展開されてきた。しかしながら、地域における・空地の増加や高齢化、また農林業の担い手の減少といった問題はまだまだ解決されておらず、今後の持続可能な新しいまちづくりが必要とされている。

そのような中で、福岡市は市街化調整区域における移住・定住の促進や、新しいビジネス機会を創出するため、区域内における開発規制緩和策の制度づくりを行った。一方で、本制度の活用には地域住民の同意や一定の要件が必要なこと、比較的新しい制度であること、また制度の活用に向けたルールや手続きが住民にとっては複雑なことなどから、受け入れ側となる地域住民へ浸透していないといった運用面での課題を有している。



さわらの秋



早良みなみマルシェ

2. 事業の目的と共働の必要性

①事業の目的

早良南部3校区（脇山・内野・曲淵）は、周辺に豊かな自然や新鮮な農作物があり、また長い歴史や特徴的な文化、多彩なイベントと特産品、都市への良好なアクセスなどが魅力の地域である。これまで、早良区と各校区、また校区の枠を超えた地域のまちづくり組織である「早良みなみ塾」等の取組みにより、地域資源を活かすための活動が推進されてきた。一方で、少子高齢化や人口減少が進み、今後の「交流人口の促進」、「自然・農村の魅力の活用」、「地域・事業者との共働の体制・仕組みづくり」が重要な対応課題となっている。

そこで本事業では、市や地域の取組と連動し、市街化調整区域の規制緩和に関する新制度の運用を見据えた魅力ある地域資源や既存ストックの活用策を、地域内外の様々な市民や団体・事業者等と共に検討し、持続可能な早良南部地域の新しいまちづくりにむけた共働の体制づくりや実践的な展開を図ることとした。

②市との共働の必要性

取組みを進めるにあたって、各校区の住民からなる自治協議会、町内会等の各種団体との密な協議が必要とされる。そのため、既存団体を把握している早良区が共働することで、より効果的に地域との調整を図り、事業の必要性の理解や信用、信頼を得ることができる。また、市街化調整区域の規制緩和策による建築物立地等に制限を及ぼす関係法令（農地法、土砂災害防止法等）に関して情報共有することで、より実現性の高い取組みの検討ができる。

③NPO の果たす役割

当団体は、平成21年度の共働提案事業として採択された「かなたけの里公園を拠点としたまちづくり」事業の実施経験を有しており、地域の事業づくりやそれらを実践する人材の育成事業に取組み、地域の様々な課題の解決法を提案、実践してきた。現在も、指定管理者と連携体制を図り、園外の農地を活用した地域共働による農体験プログラムを実践している。

また、本NPOは、体験活動型の教育プログラムや地域の自然や文化をテーマとした事業活動を行っている事業者とのネットワークを有している。そのネットワークと、企画・広報・運営までを行う計画構築のノウハウを活かすことで、実現可能性の高い取組のプランを検討する。

3. 事業目標

本事業の平成30年度における目標は以下の通りである。

①早良南部地域づくりプランの作成：ワークショップの成果を基に、新たな交流促進を実現するためのプログラムとして「早良南部地域づくりプラン」を作成する。

②住民・事業者向けの市街化調整区域の制度のガイドライン作成：勉強会の説明資料を基に、住民・事業者向けの市街化調整区域の土地利用規制緩和に関するガイドラインを作成する。

③地域内における周知啓発：とりまとめた事業報告書を基に、概要版を作成し、校区回覧板で配布するなど周知を図る。

事業展開のイメージ



成果指標

成果指標	現状値	達成率	目標値		
			H30	H31	H32
①ワークショップ（ヒアリング・勉強会等も含む）への参加者数	37	30.8%	120	120	120
②アンケートを実施した事業者数（GAP 調査として、ヒアリングの際に実施）※	8	26.7%	30	40	50
③ヒアリングを実施した事業者数※	8	160.0%	5	10	15
④試行プログラムの実施数（空き家）	0	0	0	0	2
⑤試行プログラムの実施数（空地・未活用農地）	0	0	0	2	4

※より具体的で即効性の高い事業マッチングを進めるため、ヒアリングを重視している

事業フロー

成果指標①



4. 事業内容

事業内容① 地域との事前協議

実施状況

地域との事前協議は、脇山・内野・曲淵校区の自治協議会及び早良商工会を対象に、①本事業の概要説明及び事業実施に関する意見交換、②市街化調整区域における規制緩和の新制度に関する意見交換を行った。実施の日程及び成果を抜粋したものは以下の通りである。



地域との事前協議の概要

ヒアリングの内容	実施月	対象
説明事項：本事業の概要説明 意見交換：事業実施に対する意向	4月	脇山校区自治協議会会長 内野校区自治協議会会長 曲淵校区自治協議会会長、他7名 早良商工会事務局長
説明事項：市街化調整区域における規制緩和の新制度 意見交換：事業の進め方に関して	7-8月	脇山校区自治協議会会長、脇山公民館長、他3名 曲淵校区自治協議会会長 早良商工会事務局長

意見交換の内容

団体	事業実施に対する意向	事業の進め方に関して
脇山校区自治協議会	<ul style="list-style-type: none"> 良い取組みがあっても、人材や組織が不足しているため、協力者が必要 脇山には主基斎田をはじめとする資源や様々なイベントがあるため、それらを活かして交流促進を図りたい 	<ul style="list-style-type: none"> 地域へ広く取組みを周知しながら、事業を進めていきたい 住民が参加してしっかり考える機会が欲しい
曲淵校区自治協議会	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少と高齢化が進んでおり、地域で主体的な取組みは難しい 校区内にある10軒の空家や、来年度休校となる曲淵小学校を活用した取組みを、事業者の協力の下で進めてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 自治協議会と一緒に現状を調査しながら、活用の方法を検討したい 事業者によるウォーキングイベント等に、校区内の店舗が連携する仕組みを検討したい
早良商工会	<ul style="list-style-type: none"> 市が実施している他の取組みとうまく連携しながら一体的に進めてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 事業を進めるにあたって、早良商工会の青年部や早良みなみマルシェの実行委員会との連携を図っていくと良い

各校区の自治協議会との事前協議を踏まえ、必要性、緊急性等の観点から、脇山校区、曲淵校区の2校区では以下の実施方針で進めることとした。なお、内野校区については適宜情報提供を行っていく。

●事業の実施方針

脇山校区：校区全体に向けた説明会及びテーマごとの分科会を開催し、次年度の試行プログラムづくりを目指す

曲淵校区：事業者ヒアリングの成果を踏まえ、自治協議会や校区内の事業者と協議しながら試行プログラムを適時実施していく。

事業内容② 市街化調整区域の土地利用規制緩和に関する勉強会

実施状況

市街化調整区域の土地利用規制緩和に関する勉強会を、脇山校区を対象に開催した。また、勉強会の実施に向けては、市担当部局等と確認をとりながら、法令関連（農業振興法、土砂災害防止法等）といった事業実施に係る条件を整理した。

●脇山校区 勉強会

日時：9月6日（木） 19：30～21：00

場所：脇山公民館

参加人数：22名（各町内会より代表者が参加）

勉強会の内容

- ①今回の事業に関する説明（別紙資料①）
- ②市街化調整区域に関する説明（別紙資料②）
- ③脇山校区における今後の事業の進め方に関する意見交換



主な意見

- ・若い人にいっぱい来てくれるような呼びかけをして、具体的な取組みを検討していきたい。
- ・校区全体の意見を聞いた上で、取組みを進めていきたい。
- ・町内会レベルでも事業を周知した上で、地域の若い人が参加できる仕組みにしたい。
- ・農協や早良商工会などの青年部や早良みなみマルシェ実行委員会協力できるようにしていく。
- ・外から人を呼び込み、校区外との交流を促進したい。
- ・地域に雇用が生まれるような事業者とのマッチングを考えていきたい。
- ・事業者が求めているものを知っておきたい。
- ・地域の魅力に関して、校区内の住民ではなく、移住してきた人や事業者の意見を聞きたい。



勉強会の様子

勉強会での意見交換の結果を受けて、脇山校区においては、各町内会毎に①町内の課題や魅力、②今後のワークショップで検討していく取組み内容に関する意見交換を行うこととした。

事業内容③ 事業者マッチングに向けた意向調査

実施状況

より具体的で即効性のある事業者マッチングの取組みを進めるため、事業連携の可能性が高いと想定される事業者へのヒアリングを重視し進めている。また、ヒアリングの際に早良南部地域の資源に関する認知度及び興味度に関するGAP調査を行っている（参考資料① P14）。

●事業者ヒアリング（目標5団体 実施済み8団体）

8団体の事業者ヒアリングを実施した。ヒアリングの内容は以下の通りである。また、ヒアリングの際は、これまで地域で協議されてきた既存資料などを踏まえ、早良南部地域で進める取組みのアイデアシート案（参考資料② P15、参考資料③ P16）を提示した上で、意見交換を行った。

〈主なヒアリング事項〉	
・事業の内容に対する印象	・地域に対する印象や期待
・事業者の課題等	・取組みへの参画可能性

今後の予定：ヒアリングを継続実施予定

●ヒアリング対象となる事業者（NPO等の団体も含む）

対象となる事業者は、アイデアシート（案）で整理した食、農、アウトドア、健康といった取組みのキーワードから、期待される地域と事業者の関わり方を整理し、連携可能性のある業種を想定した。

期待される地域と事業者の関わり

キーワード	期待する地域との関わり	想定される主な業種
食	地域特産品を使った食品開発 地域と共同での飲食・物販事業 地域特産品のPRや流通	食品会社 WEBサービス事業者
農	農業資材等の流通・販売 耕作放棄地等での農業体験 余剰野菜を活用した食品開発や収穫体験	ホームセンター 大型商業施設の管理運営会社 農業関連資材の製造メーカー
アウトドア	事業者・商品PRと連携したイベント開催 自然体験プログラムの運営 地域密着型の宿泊施設	アウトドア・アパレル会社 環境教育活動に取組む事業者 民宿・ゲストハウス経営者
健康	福祉施設の支援事業 地域めぐりの企画検討	福祉施設 まちあるき活動に取組む事業者

また、事業者選定に関しては、NPO及び市がもつネットワークを活用し、以下のようなニーズを有する事業者を選定した。

〈事業者選定の考え方〉
・中山間地域を対象とした事業参画を検討している事業者
・農業従事者との事業連携を検討している事業者
・まちづくりや環境学習等に関する企画検討、運営のノウハウを有する事業者
・企業CSR等による地域貢献を検討している事業者
・地域内で取組みへの参加に積極的な事業者

事業者ヒアリングの途中経過

団体A

団体の概要：近隣の大型商業施設を管理運営する事業者

ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	企業ファンの獲得や地域貢献の一環で行っている、顧客サービスの農体験を継続・拡大していきたい
事業の内容に関する印象	<ul style="list-style-type: none"> 地域の農作物の収穫体験や農地での定期的な栽培体験は、顧客サービス事業として行うと、非常に需要が高いイベントとなる。 商業施設の集客イベントに地域の店舗が出店してもらえると魅力あるプログラムになる。特に、地域の名物となっている食品があると来館者が喜ぶ。
地域に対する印象や期待	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特産品が収穫できたり、近くでおみやげとして買える場所があると、参加者満足度が高くなる
事業者の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 顧客サービスの取組みに関しては、それ自体には事業性が無いため、実施規模や時期が年度によって異なってしまう場合がある
取組みへの参画可能性	<ul style="list-style-type: none"> 農家と連携した農体験プログラム 例) 顧客サービスや福利厚生として実施する農地での収穫体験や栽培体験 校区内店舗と連携した地域PRイベント 例) 大型商業施設での集客イベントで地域PRイベント



団体B

団体の概要：九州を中心にフットパスによる地域づくりを展開

ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	フットパスの活動を広げていきたい
事業の内容に関する印象	<ul style="list-style-type: none"> 事業でフットパスの企画や運営を行っていくのであれば、地域が主役となる仕組みが必要 フットパスをはじめとする地域で行うイベントの考え方は、セルフで歩いてくれる地域のファンづくりを目指すことが大切である。
地域に対する印象や期待	<ul style="list-style-type: none"> 民家等で地域の方が休憩や軽食の場を提供することが、来訪者の心をつかむ。すでに行われているようなウォーキングイベントに地域の方が協力すること休憩・飲食の場を確保すること、少しではあるが収入になると良い。 フットパスは、来訪者が地域の風景や食、文化等を自分達で巡って楽しむファンになることが重要。
事業者の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 「ヒト・モノ・コト」に加えて、トキ（感情・発見・感動）を大切にしたい
取組みへの参画可能性	<ul style="list-style-type: none"> 地域を巡らせる仕組みづくりの協力 例) 早良南部地域を巡るフットパスコースづくりの提案、コースづくりに向けた講演会の実施



団体C・D

団体の概要：地域の交流拠点となるゲストハウスづくりを展開

ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	地域の交流拠点となるようなゲストハウスの運営を広げていきたい
事業の内容に関する印象	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域を拠点として、都市の中心部を巡る等、様々な観光形態のニーズをつかむことが大切。
地域に対する印象や期待	<ul style="list-style-type: none"> インバウンドをはじめとするゲストハウスの利用者は自動車による広域的な観光を目的とすることが多い。そのため、早良南部地域は天神・博多・佐賀・熊本方面を巡る拠点となりうる。 事業としていきなり参入するには、場所性や地域精通度に課題がある。
事業者の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人々が運営する、地域内外の交流を育むゲストハウスの運営ノウハウを広げていきたいが、地域にキーパーソンとなる人材がいなければ、活動が進みにくい。
取組みへの参画可能性	<ul style="list-style-type: none"> ゲストハウスづくりのノウハウ提供 例) 地域の住民が運営する、住民同士の交流を育む拠点となるゲストハウスづくりに関する講習会 民泊運営サイトへの登録 例) 民泊利用できる地域の登録・利用者の斡旋



団体E

団体の概要：地域特産品を活用したカレー商品の製造・販売を行う

ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	購買者となる地域の方々の健康づくりや、福祉施設の運営に貢献できる事業を行いたい
事業の内容に関する印象	<ul style="list-style-type: none"> お米を中心として、様々な農作物が作られているようなので、商品開発ができる可能性は高い。
地域に対する印象や期待	<ul style="list-style-type: none"> 主な購買者となる地域の方へ、自然素材の商品を提供することで食による健康を提供していきたい。 福祉施設が自主事業として運営していけるようにノウハウを提供していきたい。 規格外野菜や、食品加工する過程で発生する端材等を有効活用する商品開発ができると良い。
事業者の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 事業性よりも、食を通じた健康づくりや福祉施設の支援への貢献を重視するような取組みであれば、協力していきたい
取組みへの参画可能性	<ul style="list-style-type: none"> 地域特産品を活用した商品の開発 例) 地域の特産品や規格外野菜等を活用した商品開発、事業者への商品提供 福祉施設による商品製造・販売支援 例) 福祉施設にレシピやスパイスをセットとして提供する委託事業、福祉施設による生産・販売・飲食の事業支援



団体 F

団体の概要：九州最大のローソクメーカー

ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	農家と連携し、自社のビニルハウス用のキャンドルの効果を検証していきたい
事業の内容に関する印象	<ul style="list-style-type: none"> 芯糸や蠟部分の端材を使って、地域の方と一緒にアイデアを企画できていけると良い。
地域に対する印象や期待	<ul style="list-style-type: none"> 神楽等の伝統的な行事のライトアップは人工的な光よりも、ローソクの自然な採光の方が映えるからぜひ使ってほしい。 古民家の施設等があれば、演出にローソクの光を活用してほしい。
事業者の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ローソクを製造する過程で、必ず蠟や芯糸の端材が発生するため、それらを有効活用していきたい
取組みへの参画可能性	<ul style="list-style-type: none"> 地域イベントとの連携 例) イベントにおけるキャンドルの提供、キャンドルアート作家の紹介、キャンドルづくり体験の開催、イルミネーションイベントでのローソク活用等 ビニルハウスを所有する農家との連携。 例) ハウス野菜栽培用のキャンドルを無償で提供しながら、その効果を実証に協力してもらう。



団体 G

団体の概要：全国に事業を展開する乳業メーカー

ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	事業所が早良区に移転したことをきっかけに、市や地域へ貢献するような CSR 事業を検討している
事業の内容に関する印象	<ul style="list-style-type: none"> 自社では県外からの単身者が多く、余暇の過ごし方に悩みをもつものも多い。大事業者が立地する都市においては、単身者をターゲットとしたイベントプログラムがあると良いと思われる。 大規模な食品メーカーでは地域の商品開発に事業として関わりにくい。そのため、CSRとしての側面が強くなる。
地域に対する印象や期待	<ul style="list-style-type: none"> 地域の魅力がもっと PR されて、また交通の利便性が確保されれば、余暇を過ごす場所として選択しやすくなると思われる。
事業者の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 社内の単身者向けのイベントプログラムがあると良い
取組みへの参画可能性	<ul style="list-style-type: none"> CSR 事業の一環としての商品提供 例) 地域でのイベント等への試供品提供（事業者 PR やファンの獲得） 商品開発への協力 例) 地域の特産品と乳製品を組み合わせた商品開発等への協力



団体H

団体の概要：自然環境や地域資源を生かしたまちづくりに向けた取組みを展開するNPO

ヒアリング結果概要

事業者のニーズ	NPO 環境文化プロジェクト機構とともに、西区の都市公園を対象とした環境教育プログラムを展開しており、今後の新たな事業展開や活動フィールドの拡大を検討している
事業の内容に関する印象	<ul style="list-style-type: none"> 早良南部の自然を生かした体験や環境教育のプログラムの企画運営を行っていきたい一方で、現地までの来訪者の交通手段の確保や人材の不足といった課題がある。単独での事業ではなく、複数の事業者での共同事業で進めていくことができると良い。
地域に対する印象や期待	<ul style="list-style-type: none"> 自然学校を拠点とした九州自然歩道の登山プログラムや、ファシリテーション研修を実施した経験がある。今後は別のかたちでも早良地域と関わっていけると良い。
事業者の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 単独での自主事業として実施することは難しいため、現地への離合集散や広報、PRなどで他事業者と連携できると良い。
取組みへの参画可能性	<ul style="list-style-type: none"> 自然体験プログラムの運営 例) インバウンドをメインターゲットとした自然体験ツアー、異業種交流や福利厚生等を目的とした事業者向けの体験プログラムの企画 アウトドアプログラムの運営 例) 地域の宿泊施設や学校の校庭等をつかったアウトドア体験プログラム



事業者ヒアリングの途中経過のまとめを以下のように整理した。

〈事業者ヒアリングの途中経過まとめ〉

- 福岡市内に位置しながら豊かな自然や農地があることから、顧客サービス・福利厚生を目的としたレクリエーションの場、農業体験や環境学習プログラムといった体験学習の場、周辺地域を巡る広域観光拠点の場として活用する事業連携の可能性が確認できた。
- 事業者は、地域観光を進める際には、来訪者の受け入れ・もてなしを住民が主体的に進めることを期待している。また、商品開発・製造や来訪者の満足度向上に向けては、地域特産品の活用・PRが重要視されている。
- 自社商品の製造過程で発生する端材の活用方法の検討（ローソクメーカー）や、地域の規格外野菜等の二次製品利用といった、生産・製造の過程で余剰となるものの活用方法を検討することが期待されている。
- 単独の事業者によるものだけでなく、複数の事業者が役割を分担した複数事業者のマッチングによる取組みが求められている。

事業内容④ 住民ワークショップ

地域との事前協議、及び市街化調整区域の土地利用規制緩和に関する勉強会の成果を踏まえて、今年度の住民ワークショップは脇山校区、曲淵校区の2校区を対象として進めることとした。実施にあたっては、事業者ヒアリングで把握した事業者のニーズを共有することで、より実現性の高い取組みの検討を図っていく。また、ワークショップでの検討内容については、2月以降に校区全体を対象とした説明会を実施するものとする。

●脇山校区でのワークショップの進め方

脇山校区ではまず、地域との事前協議や勉強会、各町内会との意見交換を通じて検討した、取組みのテーマごとの分科会を発足する。分科会の構成メンバーは、校区内の事業者や農協青年部等の団体、各町内からの代表者を予定している。将来的な取組みの担い手となる人材を分科会メンバーとすることで、次年度以降の試行や運営体制づくりにつなげていく。

分科会のテーマイメージ

- ・地域の食と農を楽しむ体験型プログラム検討会
- ・脇山校区産直販売 PR プログラム検討会
- ・脇山健康まちあるきプログラム検討会



遊休地での農体験



商業施設での地域PR

●曲淵校区

曲淵校区では、地域から空家の活用が重要な課題として認識されていることから、自治協議会と継続的な協議を進めながら空家活用の取組みづくりを行う。第1回目の活動として、自治協議会と共同での空家の現況調査を実施している。この他に、市と校区外事業者によるウォーキングイベントが11月に予定されているため、校区内の事業者と連携し、イベントの活性化や曲淵校区のPRに向けた、地域によるもてなしのプログラムを検討している。



曲淵校区の空家の現況調査

事業内容⑤ とりまとめ・既存イベントを活用した周知（2月～3月実施予定）

本事業のとりまとめは、事業報告書をもとに概要版を作成し、校区回覧板で配布することで地域住民等へ周知を図っていく。また、早良みなみマルシェやクリスマスイルミネーションといった既存イベントにおいても、地域の実行組織等を連携して周知啓発の取組みを行っていく。



早良みなみマルシェ



クリスマスイルミネーション

5. NPO と市の役割分担

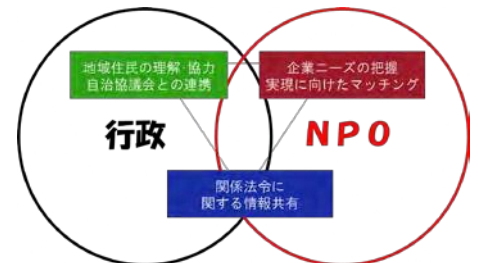
早良南部3校区住民に対する本提案事業の信頼性の担保や、市街化調整区域における新制度に関する十分な住民理解と意識づけを得るため、下記の役割分担を進めている。

■行政の役割

- ・地域（校区住民、自治協議会、公民館、町内会）との連絡・調整
- ・市街化調整区域の開発規制緩和策等の新制度に関する周知啓発

■NPOの役割

- ・市街化調整区域の新制度を活用したまちづくりの将来像と行動計画の検討
- ・移住者や事業者に対する地域の合意形成の仕組み検討
- ・校区外事業者や住民とのマッチングに向けた試行プログラムの検討



6. 平成 31 年度以降への展開

本事業により、早良南部地域における新制度の導入可能性の方向性が定まることを受け、平成 31 年度以降においても継続的な支援を行うことが重要である。

2 年目の事業展開 (31 年度)

今年度検討している新たな交流促進を実現するための「地域づくりプラン」運用に向けて、地域・事業者とともに試行プログラムを企画・運営していく。また、試行プログラムの成果は、今後の新制度活用に関わる事例集としてとりまとめ、周知を行うことで、効果的に事業の推進を図るものとする。

●想定される試行プログラムの例

- ①「農・食」をテーマとしたプログラム
 - ・都市部事業者との連携による農体験や遊休地の有効活用
(顧客サービス・福利厚生・企業 CSR 等における農体験の取組づくり)
 - ・地域産材を活用した農作物や加工品のブランド開発
 - ・農作物における付加価値づくりや新しい作物の栽培
- ②「アウトドア・健康」をテーマとしたプログラム
 - ・事業者主催ウォーキングイベントの開発とイベント時の地域 PR づくり
 - ・アウトドアの魅力を PR するイベントの開発
 - ・曲淵小学校を活用した取組づくり
- ③既存イベントの活性化プログラム
 - ・事業者連携による地域集客イベントの活性化 (主基の里収穫祭、早良みなみマルシェ、早良みなみ塾イルミネーション、お田植え祭り)
- ④店舗に関する規制緩和を活用した取組を進めるプログラム
 - ・事業者向け意見交換会の開催
- ⑤住居に関する規制緩和を活用した取組を進めるプログラム
 - ・規制緩和制度の活用に向けた地域部会の設置と空き家・空地の情報収集
 - ・地域運営のゲストハウス検討部会

3 年目の事業展開 (32 年度)

1、2 年目の取組を踏まえ、早良みなみ塾や 3 校区対象として地域の新しい受け入れ体制づくりの実現を目指す。将来的に地域や NPO が校区住民と都市住民、事業者のニーズをマッチングする活動へと展開することを目指し、早良みなみ塾に分科会を立ち上げるなど、地域と共に検討を進めるものとする。

早良南部に関するアンケート調査

早良南部地域にある地域資源について、①知っているかどうか、②興味があるかどうかについて教えてください。

	名称	内容	①認知度			②興味度			
			良く知っている	だいたい知っている	聞いたことがある 知らない	興味がある	やや興味がある	あまり興味はない 興味はない	
自然	1 野河内溪谷	福岡市内唯一の溪谷。市の中心部から40分のアクセスで、遊歩道があり、夏は避暑地として賑わう。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2 曲淵ダムパーク	紅葉の季節には、カエデが色づく。周辺は木々の深い緑に囲まれ、耳を澄ますと野鳥のさえずりが心地よい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3 花乱の滝	高さ15mから落ちる水しぶきが、花びらが乱舞するように美しいため、「花乱」の名がついたという説がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4 坊主が滝	かつては、修行僧たちの修行の場所。滝つぼの前には展望スペースがあり、福岡市街を垣間見ることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
歴史	5 主基斎田跡	昭和天皇の即位の大礼である大嘗祭で献上される新米を作る田に当時の脇山村が選ばれたことを記念して造られた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	6 西光寺梵鐘	年代の刻まれた梵鐘としては日本で5番目に古く、国宝に指定されている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
宿泊・飲食	7 湧水千石の郷	天然湧水100%の大浴場では福岡市内を一望できる。新鮮素材を扱うピュウフェでは、自家製スイーツが70種類以上並び。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	8 みはる荘	老舗割烹旅館。別館のバイキングレストランでは、宿の名物料理をはじめ、子どもからお年寄りまで楽しめる品揃え。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
食	9 脇山茶	栄西禅師が中国から持ち帰ったお茶の種を脊振山にまいたことが日本の茶の始まりといわれ、脇山の特産品の一つ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	10 脊振山系の水を使った蕎麦	この地域では、脊振水系の地下水を使ったそばを多くの店で楽しむことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	11 脇山米	昭和天皇の即位の大礼である大嘗祭で献上米に選ばれたこともある美味しいお米。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	12 キャベツ小判	特産品キャベツを使用し、地域に伝わる埋蔵金伝説にちなんだ、小判型の豆腐お好み焼き	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	13 ブルーベリー農園 カントリーファーム 木苺舎	25年以上前に植えたブルーベリーの樹で、ブルーベリー狩りを楽しめます。ブルーベリー酢やジャムなども販売	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
イベント	14 脊振山系山開き	4月末に行われる市内最高峰の脊振山を含む地域で行われる山登りイベント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	15 早良みなみマルシェ	早良南部地域の特産品販売とステージイベントからなるイベント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	16 子どもグリーンツーリズム	1年を通して田植えや稲刈り、紅茶作りなどの農業体験を親子で楽しむイベント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



地域の拠点空間を中心とした「農と食」「アウトドアと健康」による地域づくりプラン

早良南部地域の特徴

- ・豊かな自然に恵まれた奥座敷 ・背振山系の清流を活かした農作物 ・都心への良好なアクセス
- ・地域が共同で実施する多彩なイベント(早良みなみマルシェ等)

地域の課題

- ①人口減少、高齢化 (空家・空地の増加、地域産業の担い手不足、地域コミュニティの活性化)
- ②市街化調整区域の土地利用 (大部分が調整区域、土地の譲渡・賃貸・建築物立地の規制緩和の実施)
- ③都市近郊での遊・食・癒への需要 (根強い日帰り旅行需要、農村体験、自然体験)

地域側のニーズ

- ・地域産業の担い手育成
- ・地域の交流拠点の形成
- ・地域の魅力資源の継承と発信
- ・既存ストック(空家・空き地)の有効活用

都市側のニーズ

- ・農村地域での体験活動
- ・農地や自然地での環境学習
- ・来訪者向け新規ビジネスの実現
- ・安心して安全な農作物等の提供

- 地域と事業者が連携した交流人口の拡大
- 資源の活用・情報発信・特産品開発等を通じた自然・農村の魅力活用
- 地域と事業者がマッチングする共働の体制・仕組みづくり

地域コミュニティの維持・活性化、定住人口増加へ

Plan-Keyword

『食と農』: 食育や農業体験・6次産業等を通じて、地域の農業に新たな可能性を
 『アウトドアと健康』: 自然体験・健康増進を通じて、地域資源の新たな活用を

STEP 1: 『呼び込む』校区外の市民を呼び込む力を伸ばす



①早良区南部産直販売PR

博多等の福岡都心部や近隣の大型商業施設等での、早良南部の特産品販売や観光資源PR等を通じて、早良南部の魅力をも市民に広く周知していきます。

- ・地域店舗による出張産直市
- ・WEBを活用した特産品PR



②子どもグリーンツーリズムの活性化

脇山あぐり倶楽部が主催する、農業体験や地産地消の食育体験を、地域住民や校区内外事業者の連携を通じて、イベント規模やプログラムの拡大を図ります。

- ・企業の福利厚生による参加創出
- ・事業者連携による活性化
- ・指導付き貸農園の運営



③地域イベントの活性化

「ワッキー主基の里収穫祭」、「早良みなみマルシェ」をはじめとする地域イベントにおいて、地域事業者の出店規模の拡大や出展内容の充実、校区外からの事業者による出張イベントの実施等により、活性化を図ります。

- ・ものづくり教室
- ・収穫体験、加工調理体験等
- ・農家による特産品トラック市
- ・キャンピングカー展示会
- ・アウトドア商品展示即売会
- ・ガーデニング展示販売会



STEP1: 呼び込む

- ▼ 校区外の市民を呼び込む力を伸ばす

STEP2: たたずむ

- ▼ 校区外の市民が滞在する時間を延ばす

STEP3: 巡らせる

地域資源を巡る滞在型の体験

STEP 2: 『たたずむ』校区外の住民が滞在する時間を延ばす



STEP1: 呼び込む

- ▼ 校区外の市民を呼び込む力を伸ばす

STEP2: たたずむ

- ▼ 校区外の市民が滞在する時間を延ばす

STEP3: 巡らせる

地域資源を巡る滞在型の体験

④事業者連携ファーム

地域の拠点施設周辺の農地を活用した、特産品の収穫体験や遊休地での指導付き貸農園といった、農業体験の運用を図ります。

- ・顧客サービス、福利厚生としての野菜づくり体験
- ・人材育成、企業研究の場としての指導付き貸農園
- ・原料調達の間としての企業畑



⑤多様な主体と連携した里山資源

NPOや市民団体、電力会社等と連携した、間伐材等を活用したクラフト体験や、里山保全に向けたボランティア活動を展開します。

- ・NPOや市民団体、ボランティアと連携した里山整備
- ・間伐材等を活用した森のクラフト体験
- ・木質バイオマス事業活用
- ・福利厚生や顧客サービスによるタケノコ収穫体験



⑥地域探訪トレイル

四季の自然や地域の歴史、食といったテーマごとに、トレッキング・サイクリング・フットパス等の地域巡りの仕組みを作ります。

- ・アウトドアメーカー連携のキャンプ・トレッキング
- ・NPO等と連携した自然観察トレッキング
- ・地域資源を巡るフットパスづくり
- ・地域の歴史、自然と食を巡るサイクルトレイル



STEP 3: 『巡らせる』地域資源を巡るための滞在型の体験



STEP1: 呼び込む

- ▼ 校区外の市民を呼び込む力を伸ばす

STEP2: たたずむ

- ▼ 校区外の市民が滞在する時間を延ばす

STEP3: 巡らせる

地域資源を巡る滞在型の体験

⑦地域の拠点施設を核とした6次産業

地域の拠点施設に、観光案内機能や農作物の加工施設、飲食・休憩施設等の機能拡大を図るとともに、地域内外の事業者連携による特産品の共同開発を推進します。

- ・B級品(規格外野菜等)を使った加工品開発
- ・地域の生産者と事業者による特産品共同開発
- ・拠点施設を核とした、地域全体での観光農園
- ・ワッキー主基の里の施設拡大プロジェクト(観光案内機能、農作物の加工施設、店舗面積拡大、ファーマーズカフェ、加工・流通・販売・案内・飲食・休憩機能の集約)



⑧空家を活用した滞在型観光プラン

地域の空家を活用して、市外からの来訪者に向けた宿泊施設、賃貸テナント利用、また、観光や交流施設としての運用を展開します。また、新規営農者やIターン層の誘致に向けた、空家の賃貸事業の検討も図ります。

- ・校区外の不動産事業者、建築設計会社と校区内の工務店等による空家リノベーション
- ・ゲストハウス、賃貸、テナント利用、お土産物・観光案内所、体験交流施設等への利用
- ・新規営農者、Iターン層の誘致に向けた空家賃貸事業



地域づくりプランのターゲットと想定される事業者の関り

本事業のターゲット(来訪者)

地域の新興住宅地居住者



- 生活の一部としての、本格的な農業体験への参加
- 日常での自然散策
- 日常での食材、食品の購入

アクティブシニア



- 生活の一部としての、本格的な農業体験への参加
- 健康づくりとしての農業体験や自然散策
- 日常での食材、食品の購入

子育て世代

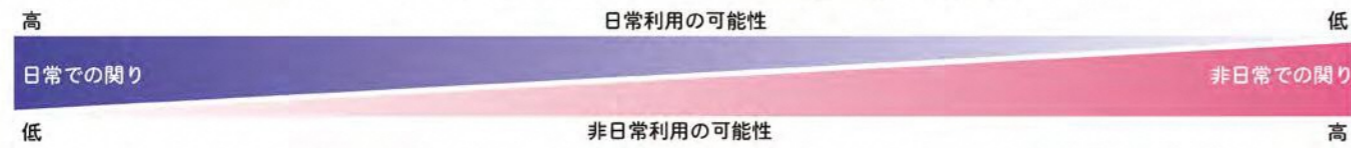


- 食育につながる、農業体験
- 余暇活動としての農業体験、自然散策
- 自分で育てる安全、安心野菜
- 地域特産品、食材、食品の購入

市外からの来訪者



- 地域全体を巡る着地型観光
- レクリエーションとしての農業体験、自然散策
- 地域特産品の購入



地域住民との関わり

地域づくりプラン

- STEP1 呼び込む
- ①早良区南部産直販売PR
 - ②子どもグリーンツーリズムの活性化
 - ③地域イベントの活性化
- STEP2 たたずむ
- ④事業者連携ファーム
 - ⑤多様な主体と連携した里山資源活用
 - ⑥地域探訪トレイル
- STEP3 巡らせる
- ⑦地域の拠点施設を核とした6次産業
 - ⑧空家を活用した滞在型観光プラン

地域住民の関わり

- 地域資源の情報提供、連携団体・人材のリスト化
- イベントへの出店、特産品販売、PR
- イベントの企画運営への参画
- 農体験に提供可能な農地の紹介(収穫体験)
- 農体験に提供可能な農地・人材の紹介(栽培体験)
- 地域特産品の共同開発
- 地域巡りプランの作成
- 地域巡りガイドの人材提供・育成
- 6次産業の運営団体・協力団体の組織づくり
- 取組みの周知啓発、広い住民参加の仕組みづくり
- 空家の提供・回収・賃貸事業
- 事業者や移住者の受け入れに向けたルール作り

地域づくりプランのターゲットごとのストーリー

ターゲット	時間帯	7:00~9:00	9:00~11:00	11:00~14:00	14:00~17:00	17:00~21:00	21:00~
地域の新興住宅地居住者	日常での関わり		2 指導付き貸農園利用者 今日は借りている畑の野菜のお世話に行こう。ついでに少し収穫も！	1 WEBでの情報確認 主基の里HPに、地域の農家さんがやっている収穫体験のメニューが載っている！	6 フットパス来訪者 野菜のお世話のついでにいつも立ち寄る自然歩道。ここでは健康な1日が過ごせる	7 主基の里の常連利用者 いつも帰りに立ち寄る主基の里。安くて新鮮な野菜がたくさん！レシピももらえる	7 地域での観光農園参加者 いろんな野菜が手に入って、調理方法まで農家さんが教えてくれた！また行こう！
アクティブシニア				4 事業者主催の農体験参加者 ●●(事業者)が主催する無料の農体験に参加できた！次回は個人的に来てみよう	2 お祭りに参加する家族 収穫だけでなく、加工体験までできる！美味しい味噌ができるとうれしいな！		
子育て世代			3 早良みなみマルシェ参加者 いろんな団体がたくさんのイベントをしているから、1日中楽しめる！				6 自然観察に参加する親子 夜のホタル観賞会！街にこんなに近いのに、ホタルたくさん見れた！感動！
市外からの来訪者	非日常での関わり		8 ゲストハウス利用者 脇山に最近できたゲストハウスに泊ってみたけど、居心地が最高！	7 市外からの観光客 農家さんとお店が共同開発した特産品メニュー、最近話題だね！	7 市外からの観光客 主基の里で、特産品売り場に併設しているカフェ。近くの観光情報もたくさんある！	6 アウトドア・キャンプ参加者 アウトドアメーカーのレンタル品がある、学校の校庭での星空キャンプ！	